

賢治と歩く上野 / 浅草

宮沢賢治研究会 イーハートーブ修学旅行◆特別編

序◆秋の東京は、浅草から上野まで、賢治の足跡をたずねて歩きます。東北の玄関口であった当時の上野駅は、もちろん賢治と東京の接点でもありました。西に文教施設、東に遊興施設を擁し都会の繁華をさわめておりました。宮沢賢治研究会関連では、過去に「バスハイク賢治ゆかりの東京・平成10年(1998年)8月開催」「賢治の歩いた東京(宮沢賢治学会イーハートーブセンター・平成14年〈2002年〉3月開催:当研究会は協力)」などで賢治の足跡を確認してまいりましたが、前回からも、はや9年が経過し、既に失われた物も少なくありません。実は、上野/浅草と言っても「直接に」賢治と結びつく「証拠物件」は決して多いものではありません。したがって、多くは賢治の書き残したテキストから想像力をもって往時を復元する作業となります。講演会と映画上映会もあります。

開催◆平成23年11月5・6日(土/日)

特別講演会◆福島泰樹氏(会場:台東区下谷-法昌寺・演題未定)

特別映画上映会◆赤い夕陽の爺 yulie(ジュリー)

参加費◆(1泊2食)17,000円

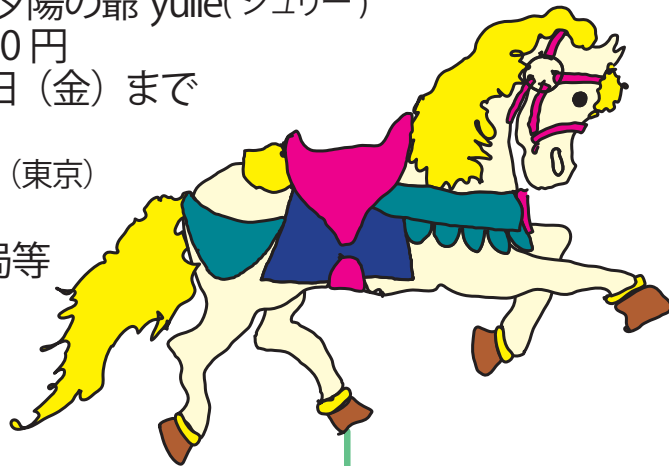
参加申込み◆10月14日(金)まで

定員◆40名

主催◆宮沢賢治研究会(東京)

問合せ・申込先◆

宮沢賢治研究会事務局等
(裏面申込書参照)



浅草の

木馬に乗りて

晒し、

夜汽車を待てど

こゝろまざれず。

■福島泰樹氏

歌人。台東区下谷の法昌寺住職。

「月光の会」主宰。「短歌絶叫コンサート」で知られる。賢治関係の著作では「宮沢賢治と東京宇宙」などがある(ウィキペディアより抜粋)。今回はお寺を会場としてお借りし、お話をいただく予定である。平成10年12月第183回例会でも発表あり。

■映画「赤い夕陽の爺 yulie(ジュリー)」

旧穂別町(現在むかわ町穂別地区)の「田んぼ de ミュージカル委員会」の第4作目の作品「赤い夕陽の爺 yulie(ジュリー)」である。過疎と高齢化を逆手にとった逆転の発想が次々と映画を産み出し、各界で評価を得ている。

仕掛け人は当会会員でもある斉藤征義氏である。旧穂別町では「ほべつ銀河鉄道の里づくり委員会」が1993年の第3回イーハートーブ賞を受賞するなど賢治とのゆかりが深い。また、当会では、平成15年12月に同委員会の最初の作品である「田んぼ de ミュージカル」東京上映会をお手伝いすることが出来た。

日程(予定)

■一日目 12:00 受付(台東区台東区民会館1階ロビー集合・仲見世界隈は廻りません。ご希望の方は受付前の時間をご利用下さい。)→浅草寺→花屋敷(遊園地浅草花やしきの中には入りません。)→六区→15:00 法昌寺(講演会)→17:00 ホテルチェックイン→映画上映会→19:00 食事

■二日目 国際子ども図書館→上野界限→12:00 解散

※今後、若干の予定変更の可能性はあります。後日参加者に資料を送付します。

補足事項など

1. お申し込みは、FAX・メール・電話いずれでも結構です。メールの場合は、下記の申込書の内容を記載して下さい。
2. 会費 17,000 円は 10 月 14 日（金）まで下記の口座に振込みをお願いします。（三井住友銀行 大宮支店 普通 7862319 宮沢賢治研究会）
3. 宿泊はシングルで夕食・朝食含みます。（宿泊予定：ホテルシャーウッド台東区根岸 1-2-21 電話 03-3876-2121）
4. 全行程徒歩です。運動靴・スニーカーの類でお越し下さい。雨天決行です。
5. お申し込みいただきましたら、資料を送付します。
6. 今後実施までに、若干の内容変更の可能性があります。
7. 11 月の読書会はおやすみです。
8. 福島氏は法昌寺のご住職であるため、法事が入った場合は予定を修正することがあります。

◆宮沢賢治研究会

申 込 書 (FAX 用)

賢治と歩く上野／浅草 宮沢賢治研究会イーハトーブ修学旅行◆特別編に申し込みます。

FAX 送付先 047-355-7271 (時間を問わず。)

問合せ・連絡先 047-327-5875 (赤田)

047-355-7263 (外山)

メール toyama.t@nifty.com あるいは toyama.t@mbr.nifty.com

ふりがな 氏 名	年 代 歳 代	性 別 (○をつけて下さい) 男・女
〒 住 所		
連絡先 (常用のもののみ記入で結構です。)		
電 話 ()	FAX ()	
メー ル		